蜀黍

色者也、有唐黍者、卽蜀黍也、糯黍之粒大色赤者、而莖穗亦高大、味亦美也、

〔本朝食鑑 二 華和異同〕黍

黍與稷一類二種也、粘者爲黍、不粘者爲稷、猶稻之有粳與糯也、此俱在本邦、而稷者稻黍(イナキビ)、黍者糯黍(モチ)也、赤糜、白芑、黑秬、一稃二米秠、又有丹黍米、此亦處處有之、作餅而賞之、

〔大和本草 四 黍〕黍(モチキビ コキビ) 子バリアリ、粳キビナリ、餻トス、黍稷ハ一類也、形狀同、黍抹シ煮テ糊トシ、紙ニノベ布テ、閃挫腰痛ニ貼ス、有効、此事本艸ニノセズ、黍稷トモニ俗名コキビト云、

稷(ウルシキビ コキビ) 子バリナキ粳キビナリ、飯トス、子バリアルヲ黍トス、粳ト糯トノ如シ、本艸ニ詳ナリ、

〔重修本草綱目啓蒙 十七 稷穀〕稷 キビ コキビ 大和本草 イ子キビ ウルシキビ 一名首種 爾雅翼 齋 同上 稜稈 事物異名 明禾 廣西通志 糜子米 盛京通志 糜子米 同上 人米 古今醫統 粉糧 康熙字典

キビニ粳ト糯トアリ、稷ハ粳ニシテ粘セザルモノナリ、苗ノ形狀ハ皆同ジ、

黍 コキビ 大和本草 モチキビ 一名薌合 事物異名 大黃米 盛京通志 黃穄 大倉州志 穗稆 正字通

キビノ粘スル者ナリ

〔多識編 三 穀〕蜀黍、今案、俗云多宇岐比、異名蜀秫、俗名

〔和爾雅 六 米穀〕蜀黍(モロコシキビ タカキビ) 蜀秫、蒿粱、蘆穄、萩穄、荻穄、蘆粟並同、

〔書言字考節用集 六 生植〕蜀黍(タウキビ) 本草、種始自蜀、故名、 蘆粟(同) 蘆穄、木稷並同、 荻粱(同)

〔東垣食物本草 一 穀〕秫薥

秫薥、其穀最長而多、米粒亦大、北地種之、以備缺糧、否則喂牛馬、南人呼爲蘆穄、

〔物類稱呼 三 生植〕蜀黍たうきび 東國にてもろこしと云、中國にてきみ、伊豫にてたかきび、加賀にてほきび、越後にてせいたかきび、奥州津輕にてたちぎみ、畿內にてたうきびと云、

〔和漢三才圖會 百三 穀〕蜀黍 蜀秫 蘆穄 蘆粟 木稷 狄粱 高粱俗云唐黍